別記様式

令和元年度　学校評価報告書

令和２年３月２６日

北海道教育委員会教育長　様

北海道北見商業高等学校長
杉　本　和　聡

次のとおり令和元年度の学校評価について報告します。

1　本年度の重点目標

・学校教育目標実現のための教育課程の研究実践に努める。
・基礎学力の充実と専門的な技術の向上を図る。
・学校生活の秩序を確立し、よりよい校風の樹立に努める。

2　自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学校経営	学校教育目標については、保護者や地域住民の願いが反映されており、日常の教育活動において教育目標を具現化するという意識のもとに行われている。 間口減に伴う、業務効率化のための分掌改編や委員会・部活動顧問の配置等の改善が求められている。	自己評価の適切さ４点満点：平均３．２ 改善策の適切さ４点満点　：平均３．３ 概ね適切と思われる。学科について商業科一本にしたらどうか等のご意見をいただいた。
改善方策	・教育目標を見直し、新学習指導要領導入に併せ、令和４年度入学生から変更する。 ・今年度からの１間口減（令和３年度３間口完成）に伴い、分掌再編・各種委員会の見直し・内規整理等を行い、組織の改善を行っている。 ・次年度以降も学年と分掌間の日々の情報交換を密にし、連携の強化に努め、適切な対応を行う。	
教　務 教育課程 研　修	授業評価の研究・改善を継続して行い、客観的な授業の分析にもとづいた学習方法や家庭学習に取り組ませる工夫と基礎学力の定着に向け、さらなる研究・実践が必要である。	自己評価の適切さ４点満点：平均３．３ 改善策の適切さ　４点満点：平均３．５ 概ね適切と思われる。生徒の自主性を大事にして指導をお願いしたい旨ご意見をいただいた。
改善方策	・自ら進んで学ぶ生徒の育成や家庭学習の習慣化のために、プリントに頼らない学習方法の紹介や未来に目を向けさせるためのキャリア教育にも力を入れていきたい。 ・授業方法や評価方法の改善・教科内研修につながる情報を発信する機会を増やし、学習指導要領の改訂にともなう変更点などについても情報提供していく。 ・インターンシップについては、生徒の進路活動につながるよう、これからも改善を図っていく。	
生徒指導	服装・頭髪・挨拶等の指導や生徒理解を深める方策については、引き続き工夫をしながら行う必要がある。 生徒会活動等に概ね良好との評価が多い。	自己評価の適切さ４点満点：平均３．５ 改善策の適切さ　４点満点：平均３．３ 良好との評価をいただき、概ね適切と思われる。
改善方策	・昨年度の反省から、職員の共通理解と実践が重要課題であると考え、生徒指導部の考えをまとめたものを配布し周知をした。職員の評価では昨年度よりも肯定的にとらえていると判断できるが、生徒・保護者のアンケートでは、依然、指導に差異があるとの記載が散見される。生徒指導に係る資料を更新し、意識改革を図りたい。 ・部活動に関して、各部精力的に活動しているが、生徒・保護者アンケートでは、部活動の時間が長い、休みがないといった意見が散見される。各部活動で部活動の指針を遵守するよう再度全体で確認をしたい。 ・クラス減に伴い学校行事の見直しをする必要がある。生徒会と連携し、早期に対応したい。	
進路指導	情報提供や地域住民の期待に応えるという部分でおおむね良好な評価であった。進路実現に向けて資格取得やインターンシップなど適切に指導されている。	自己評価の適切さ４点満点：平均３．７ 改善策の適切さ　４点満点：平均３．５ 概ね適切と思われる。今後も更なる充実をお願いしたい旨ご意見をいただいた。
改善方策	・今後も商業科を中心として取り組んでいる検定資格に、学校全体でバックアップしていきたい。 ・卒業生による進路講話、地元企業の方の職業講話、校内進路保護者説明会などの機会を通して、生徒、保護者、地域の期待に応えていきたい。 ・今後も教職員向けの研修会や生徒向けの職業説明会などを行い、情報提供に努めていきたい。 ・今後も生徒の実態に即した職業体験（インターンシップ）を実施していきたい。また、地域(企業)との連携を更に強化していきたい。	
保健安全 教育相談	いじめ防止や早期発見に対する取り組みや様々な悩みを相談できる環境整備が必要である。教育相談は、保健部と指導部・学年で連携をとりながら進めている。	自己評価の適切さ４点満点：保健安全平均３．５、教育相談平均３．３ 改善策の適切さ　４点満点：保健安全平均３．３、教育相談平均３．５ 概ね適切と思われる。改善策など適切である旨ご意見をいただいた。
改善方策	・学校行事等への様々な場面で、生徒へ呼びかけているところであり、今後も行う。 ・心身共に健康で安全な学校生活が送れるよう計画的に講話等を取り入れ今後も指導する。 ・今年度、教育相談の充実を掲げて取り組んできた。具体的には、「ほっとROOM」「用かいポストASAP」を導入した。ほっとROOMについては、延べ121名（1/29現在）、用かいポストについては、10件の利用があった。初年度としては、成果があったが、課題も見つかったため、次年度は見直しを図りながら運用していきたい。 ・本校のいじめ防止対策基本方針の見直しを行う。	
その他 総　務	ホームページは、迅速な更新や情報発信が行われおおむね良好な評価であった。保護者や同窓会との連携に関しても、学校としておおむね良好な評価であった。	自己評価の適切さ４点満点：平均３．５ 改善策の適切さ　４点満点：平均３．８ 概ね適切と思われる。改善策など適切である旨ご意見をいただいた。
改善方策	・ホームページについて、内容の更新と精選を行っていく。 ・ＰＴＡ広報活動の北商だよりの発行回数は以前、役員会により、現在の２回となっている。紙面の内容については意見を取り入れ工夫していく。 ・ＰＴＡ活動は学校祭のバザー、研修会は昨年に引き続き、大変盛り上がった。　総会、委員会の参加人数はほぼ例年通りであった。来年度は委員会の構成の変更（保健の廃止、内容の一部を研修が引き継ぐ）を提案しており、研修計画を考案しているところである。 ・一斉メール送信については、緊急時での効果が高いため、継続して利用していく。また登録においても全員がスムーズに利用できるように努める。	
公表方法	・「学校評価報告書」「自己評価及び学校関係者評価書」「自己評価集計結果」「保護者アンケート集計結果」「生徒アンケート集計結果」を学校評議員、ＰＴＡ役員に公表するとともにＷｅｂページに掲載する。	

3　添付資料
自己評価及び学校関係者評価書、自己評価集計結果、保護者アンケート集計結果、生徒アンケート集計結果